

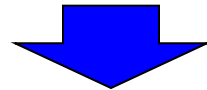
H26. 11. 12

リスクレベル表示による 危険箇所の見える化

環境安全衛生活動

○環境安全衛生管理方針

1. **無事故・無災害操業の達成「ゼロ災の達成」**
2. エコアクション21 ガイドラインに沿っての環境負荷低減の推進
3. 地域とのコミュニケーション(防災活動含む)
4. 衛生管理の徹底
5. その他(人材育成含む)



○無事故・無災害操業の達成「ゼロ災の達成」実施項目・目標

- ・**「爆発・火災」「挟まれ・巻き込まれ」「フォークリフト転倒」を重点に作業手順に基づいたリスク抽出(深掘り)とリスクⅣ・Ⅴの低減対策(本質安全化)の実施**
 - ⇒ **目標 リスクレベルⅣ以上⇒Ⅲ以下の低減対策実施**
- ・**全員参加(協力会社含む)によるヒヤリハット・危険予知の発掘**
 - ⇒ **目標 3件/月・人 以上**
- ・**KY(危険予知)シート、TBM(ツールボックスミーティング)、安全作業指導書による作業前KYの実施**
 - ⇒ **非定常作業前KYの必須実施**

○リスクアセスメントの進め方

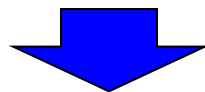
1. 専門的知識・所見が必要になる為、各部署参加を実施条件として、現状リスクの見積もり・評価、対策後のリスク再評価(予測)実施
2. リスクレベルⅣ・Ⅴについては、環境安全衛生委員会にて報告
3. リスク低減対策を計画的に実施
4. リスク低減対策後のリスク再評価(実績)実施

平成 26年度 <リスクアセスメント実施報告書>										報告書提出日		平成26年5月19日														
										最終実施完了日		平成26年8月1日														
新規設備導入前RA				現状リスク評価		予測リスク評価		対策実施 リスク実績評価		社長	工場長	課長	報告者													
実施日	H26.5.19			同左		7月29日 8月1日		社印	社印	社印	社印	社印	社印													
メンバー	岡戸課長・松田主務・花咲課長・藤内氏・坂内(配)			同左				社印	社印	社印	社印	社印	社印													
工程名	設備名	システム区分	作業名	危険・有害要因	区分	現状リスクの見積り・評価(現状)				対策後のリスク再評価(予測)				対策後のリスク再評価(実績)												
KLF押出工程	大型温調機 薬液注入装置	労働災害	薬注作業	危険・有害性と発生 の恐れのある災害 ~なので、~して、~(事故の型)になる	非常 / 定常	危険に 近づく 頻度	発生 の 可 能 性	事 故 の 重 大 性	リ ス ク ポ イ ン ト	リ ス ク レ ベ ル	リスク低減対策 1 本質 2 工学 3 管理(SOP・教育・表示) 4 保護具 3・4:ソフト対策は「守らない=無し」 全ポイント不変	危険に 近づく 頻度	発生 の 可 能 性	事 故 の 重 大 性	リ ス ク ポ イ ン ト	リ ス ク レ ベ ル	留意事項	残留リスク 対策	リスク低減対策	危険に 近づく 頻度	発生 の 可 能 性	事 故 の 重 大 性	リ ス ク ポ イ ン ト	リ ス ク レ ベ ル	留意事項	残留リスク 対策
薬液				非常	タンクへ薬液を投入する際、薬液が跳ねて手が炎症を起こす。	1	2	3	6	Ⅱ	保護具を着用する。	1	2	3	6	Ⅱ			保護具を着用する。	1	2	3	6	Ⅱ		
薬液				非常	タンクへ薬液を投入する際、手から容器が滑り落ち、周辺一帯に薬液が撒かさり作業者が暴露する。	1	4	6	11	Ⅳ	保護具を着用する。	1	4	6	11	Ⅳ			保護具を着用する。	1	4	6	11	Ⅳ		
薬液				非常	タンク内の液が何か分からず、液に触れ手が炎症を起こす。	1	4	3	8	Ⅲ	内容物の表示をして取扱いの注意を促す。	1	4	3	8	Ⅲ			内容物の表示をして取扱いの注意を促す。	1	4	3	8	Ⅲ		

※リスク評価＝リスクレベル

危険に近づく頻度、発生の可能性、事故の重大性について評価し、それぞれのリスクポイント合計でリスクレベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴを決める。

5. 技術的問題等により、リスクレベルがⅣ・Ⅴに留まってしまう場合は、リスク評価レベル、残留リスク及び、リスク対策・厳守事項を設備等に表示し、「**危険個所の見える化**」で全従業員に注意喚起



更にリスクレベルⅣ・Ⅴ箇所の作業については、上位職の許可制とし、作業前KY実施後、作業開始

作業前KYシート

作業員名	池田	作業者	宮沢 隆夫
作業名	金型整備作業		
どんな危険があるのか？ (想定される危険全般)			
1. 金型を吊り上げる時に荷がゆがみ落ちる			
2. 金型を吊り上げる時 フックは鉄金型より重い			
3. 金型を吊り上げる時 フックは鉄金型より重い			
4. 足元を踏んで、下へ落ちる危険			
5. 床に落ちたオイルに足を踏む危険			
厳守注意事項			
吊り上げ金型を吊り上げる時は、フック、セーフ装置を 確認して作業しよう！			
フック、セーフ装置確認！			
作業員印	作業員印	作業員印	作業員印

※危険度に関わらず、非定常作業前KYを実施している。

危険箇所の見える化

挟まれ危険箇所



巻込まれ危険箇所



落雪危険箇所



6. リスク低減対策の継続

- ・リスク低減までは、ソフト対策の重層化を進め、管理強化を図る
- ・本質安全化を実現するにあたり、技術的問題については、グループ会社の情報、他社情報及び関係技術の収集を行い、リスク低減の本質安全化を進める